

# イヌリード注射液の調製方法

[薬価基準収載]

腎機能検査用薬

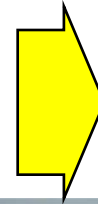
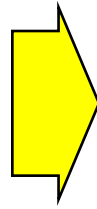
## イヌリード®注



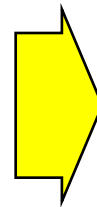
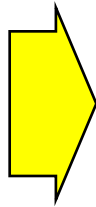
イヌリード注は腎機能検査用薬として糸球体ろ過量の測定に使用する国内初のイヌリン製剤です。

株式会社 富士薬品

# 測定の準備



ドライバスで試薬調製(約60分程度)



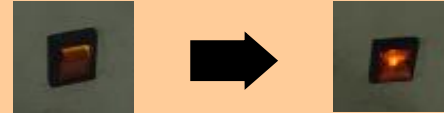
イヌリード溶解液

0.22 $\mu$ フィルター付輸液セット

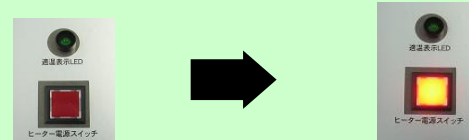
# ドライバスの予熱準備



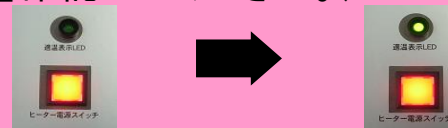
① 電源スイッチを入れる。  
(スイッチがオレンジ色に点灯している事を確認し、5秒程お待ちください。)



② ヒータースイッチを入れる。  
(上面のエレベータースイッチを押し込み、赤色に点灯している事を確認してください。)



③ 予熱(約10分)完了の確認  
(アルミブロック部が設定温度に達したことをしめす緑色のLEDが点灯していることを確認してください。)



# バイアルの加熱・溶解

1. バイアルを手を持ち1分程、強く振り混ぜてください。
2. バイアルの底部にあるイヌリン原末が懸濁したことを確認しドライバスにセットして下さい。



注意： 取り出す際はバイアルが熱くなっていますので、厚手の手袋等をご利用下さい。



<加熱前>



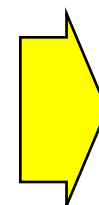
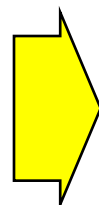
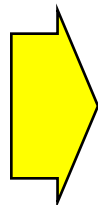
加熱(20分)途中で数回取り出して、その都度よく振り混ぜることで完全に溶解できます。

<加熱後>





# バイアルの放冷

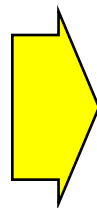
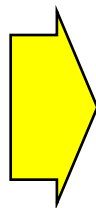


ドライバスからバイアルを取り出し、完全に溶解している事を確認後、  
20分程付属の放冷スタンドに入れて室内で冷ましてください。

**注意：**完全に溶解していない場合は、バイアルをドライバスに入れ更に約10分間加熱する。  
約10分後にバイアルを取り出して、まだ溶解していない場合は使用しないで下さい。

**注意：**加熱溶解後にバイアルに水をかけたり、氷水に浸す等の急冷操作を行なわないで下さい。

# バイアルの準備



注意：放冷後に生理食塩水で希釈する前に、無色から微黄色の澄明な状態であることを確認して下さい。

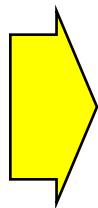
本剤は長時間の加熱により黄色に着色することがありますので、黄色に着色した場合は使用しないで下さい。

# 生理食塩水の事前調製

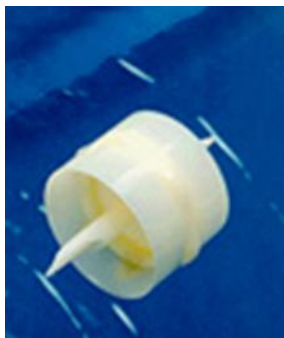
生理食塩水  
500ml

シリンジ等で  
140mlを抜水する

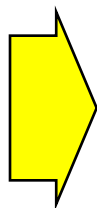
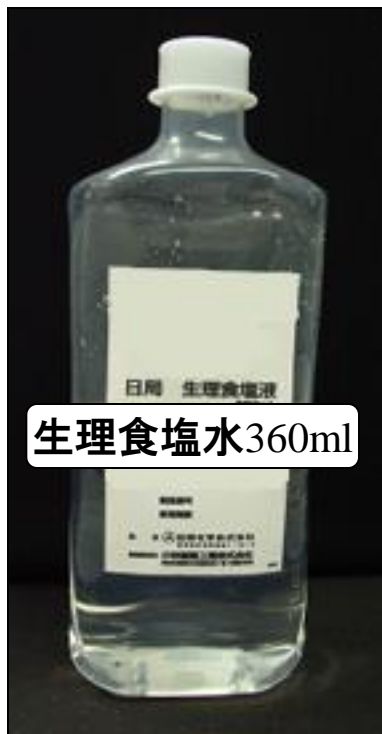
生理食塩水(抜水  
後)360ml



# 溶解液の準備



市販の注入針等  
をご用意、ご使用  
下さい



生理食塩水360ml  
に注入針等を刺す

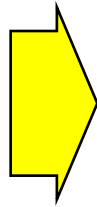
## 注入針穿刺時の留意点

- ①ゴム栓の指定位置に垂直にゆっくり  
差し込んで下さい。
- ②穿刺時に注入針、ボトルを回転させないで下さい。
- ③点滴用注射針を穿刺する際は、同一箇所への穿刺を  
避けて下さい。





# 溶解液の混合・完成 (40ml + 360ml = 400ml)



イヌリード40mlを  
生理食塩水360mlに  
溶解し400ml溶液を作る

イヌリード溶解液  
400mlの完成

# 加熱溶解時間及び希釈後の安定性

試験	測定条件		結果
溶解	水浴中で加熱溶解	加熱溶解時間 30、45、60、90及び120分間	加熱時間60分までは変化なし。 加熱時間90分で還元糖のわずかな増加及び着色が認められた。 加熱時間120分で着色が認められた。 加熱溶解後、室温放置した結果、4時間後に析出物を認めた。
希釈後	室温放置	希釈後 0、6、24時間	変化なし。

イヌリード注は用時調製し、速やかにご使用ください。

腎機能検査用薬

処方せん医薬品<sup>注)</sup>

[薬価基準収載]

# イヌリード<sup>®</sup>注

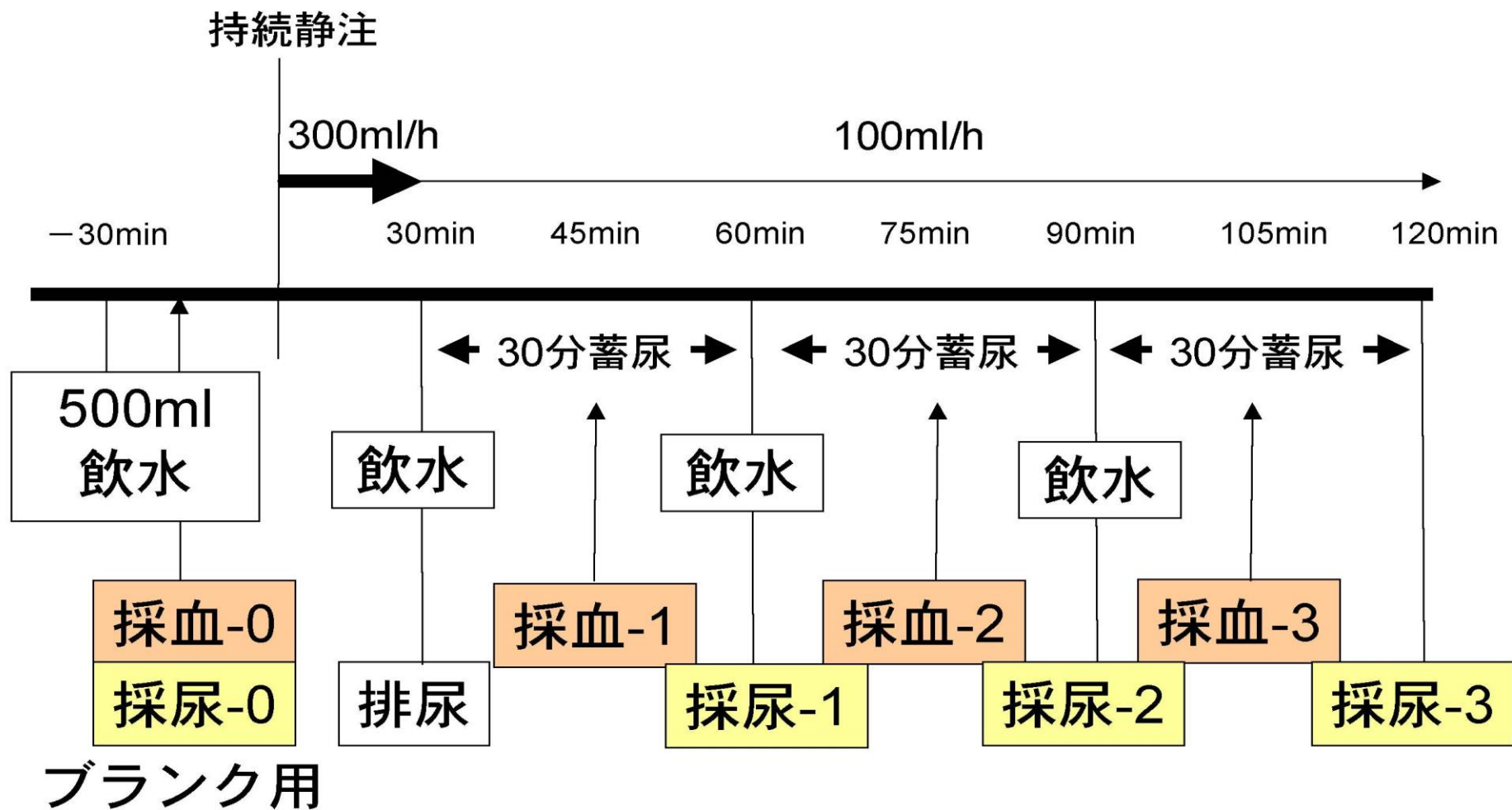
注)注意－医師等の処方せんにより使用すること

## イヌリンクリアランス 検査法



イヌリード注は腎機能検査用薬として糸球体ろ過量の測定に使用する国内初のイヌリン製剤です。

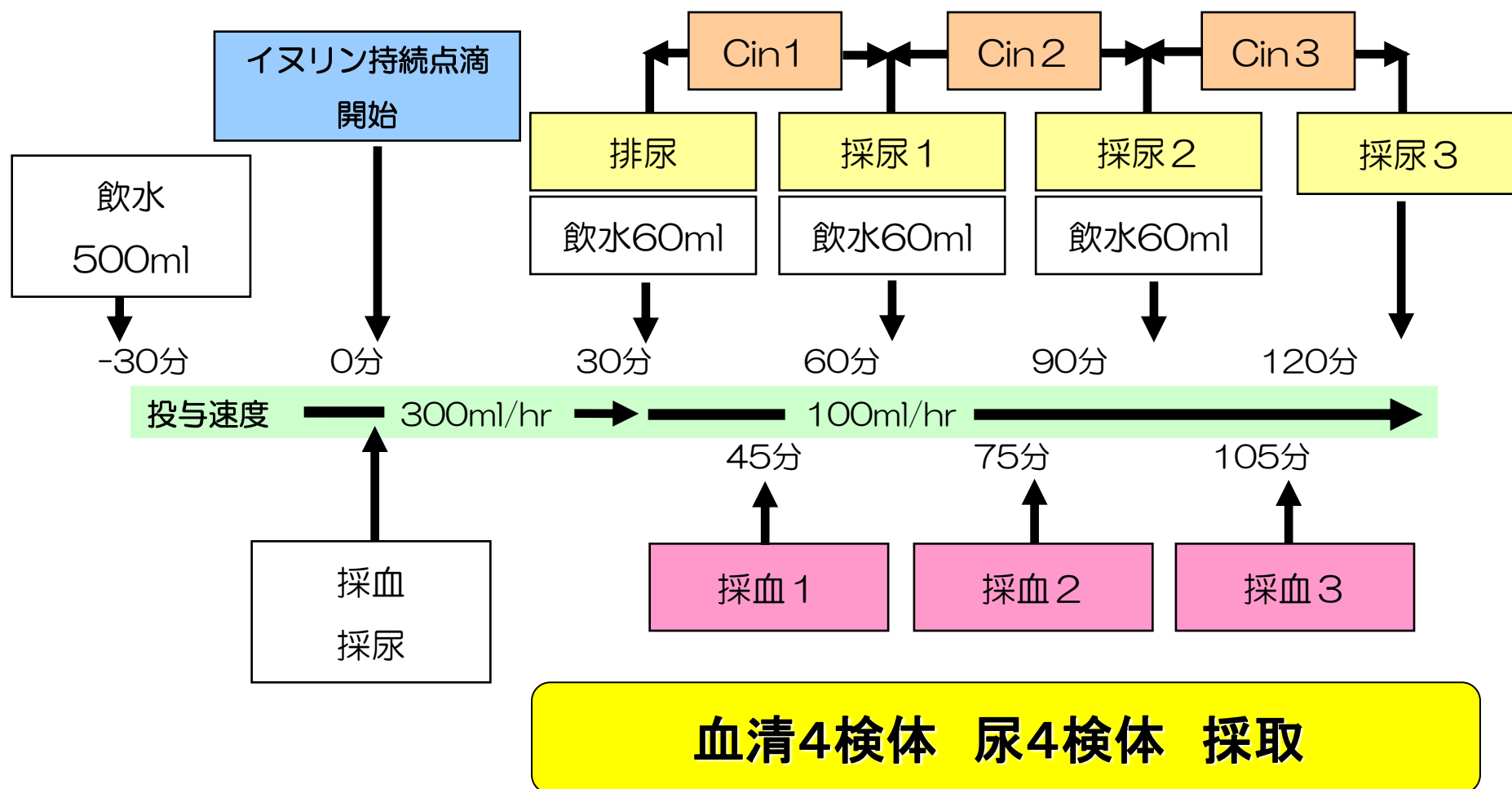
# イヌリンクリアランス（標準法）



# 標準法

# イヌリンクリアランス測定法

## 30分間のイヌリンクリアランス3回の平均

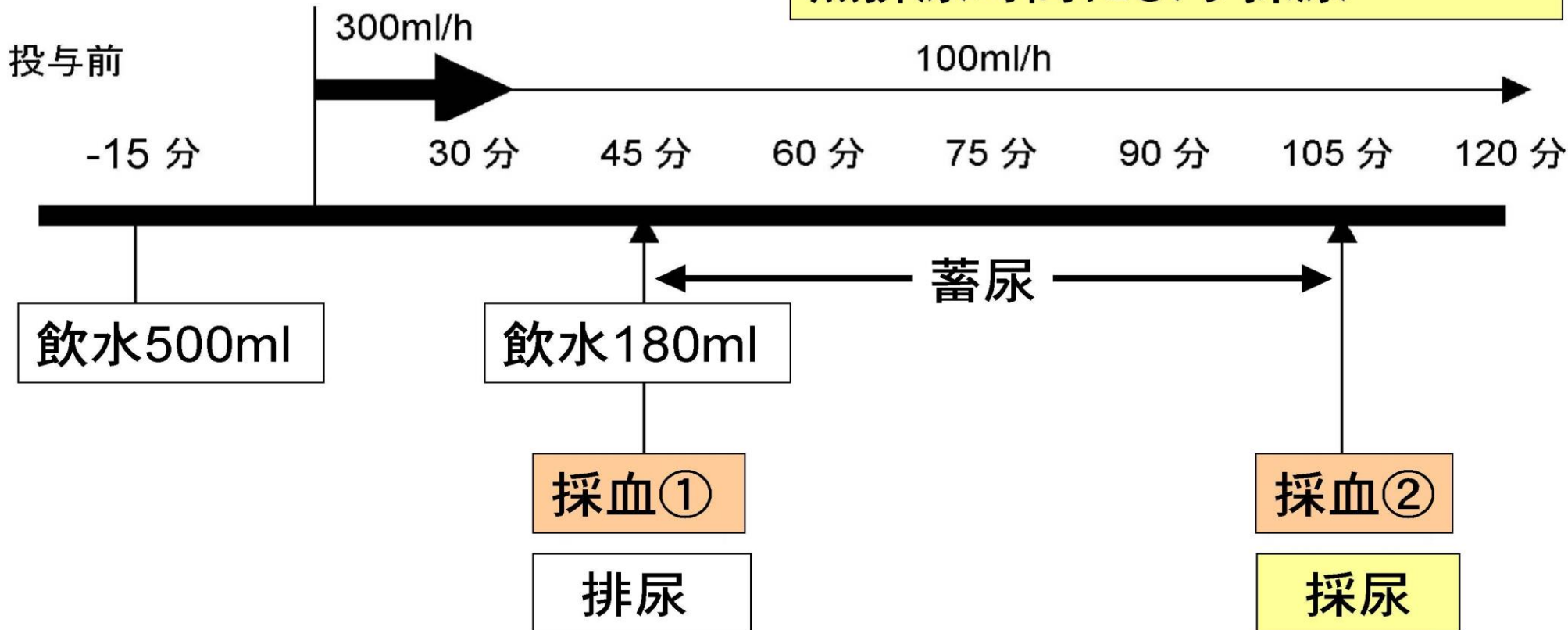




# イヌリンクリアランス（簡易法）

持続静注

60分間蓄尿を目標に患者の自然排尿時間により採尿



(Clin Exp Nephrol doi:10.1007/s10157-008-0084-z on September 2, 2008.)

# イヌリンクリアランス測定フローシート

フローシートの手順に従って測定を進め、実施した各ステップにチェックを入れ、それぞれ時刻や尿量等を記載して下さい。

検査実施日	月	日	ID	氏名	様	看護師用	
時間経過 (予定時刻を記入)			15分前	検査開始	30分経過	45分経過	105分経過
B :			A :	C :	D :		採尿は、105分を目標に75分～135分の間で患者の自然排尿時に行い、排尿時刻を記入する。
A-15分			0	A+45分	C+60分		
静注 ② ③ イヌリド注の調整 輸液ポンプ用の回路の作成			⑤	⑥ 完全排尿後投与速度を100mL/hrに変更		⑫	イヌリド注点滴の 抜針
① ④ 飲水 □身長体重測 □飲水 500mL			⑦		□飲水 180mL		
採尿			⑧ 完全排尿 トイレに排尿 □完全排尿時刻記録		⑩ U1 コップに採尿 V1 : mL □採尿時間記録 □尿量測定 ※実際の時刻を記入		
※:実施した項目は口に? (チェック)を入れましょう							
採血			⑨ S1 □採血		⑪ S2 □採血		